

LEARNING COMPLEX



広がる
深まる
学びの空間



国立大学法人

九州工業大学

次代のチカラを、ここから

一人一人が考え、学び、コミュニケーションを取りながら
自己のチカラを培うための学習環境

時代とともに学びのスタイルが
大きく変わってきています。

教員と学生、学生と学生が、双方向で学びあうこと。
日本人学生と留学生がともに理解し合うこと。
1つの課題を解決するためアイデアを出しあうこと。
そこから学びとるものこそ
一人の人間、一人のグローバル・エンジニアとして
重要な要素になると考えます。

いま、九州工業大学では
卒業後の人材像を見すえながら
複合的学習環境の整備に取り組んでいます。

九州工業大学が考えるグローバル・コンピテンシーとは？

GCE Global Competency for Engineer

九州工業大学では、グローバル化が加速する社会で活躍する技術者（グローバル・エンジニア）に必要な能力（要素）をGCEと定めて、それらを育成するための様々な取り組みを実施しています。

GCE の3つのCの取り組み

Competency

GCEの定義を決定



Circuit Program

GCE を獲得するための教育プログラム (Circuit Program) の開発及びそれらを効果的に実施するための制度設計



教育プログラム及び教育制度を整備

- 6年一貫教育プログラム (グローバル・エンジニア養成コース)
- クォーター制の導入
- 海外派遣プログラムの拡充
- 事前・事後学習のプログラム化

Learning Complex

GCE 教育を効果的に行うための複合的学習環境をキャンパスの中 (X on Campus) とともに学外 (Campus on X) にも整備。



複合的学習環境・多様な学習機会の創出

X on Campus

キャンパス内の教育施設

Campus on X

海外も含めた学外の教育施設



学長メッセージ Message from the President



九州工業大学 学長
尾家 祐二

グローバルに活躍する
エンジニアを育てる
施設の数々。

九州工業大学では、1909年の開校以来、建学の理念である「技術に堪能なる士君子の養成」のもと、産業界をはじめとして、数多くの優秀な人材を輩出してきました。

グローバル化が加速する現代では、社会や産業の構造も変化し続けています。そのような中、大学での学びも、伝統を重んじながらも、常に新しく、魅力的なものであり続けなくてはなりません。

キャンパスの中には、アクティブラーニングを促進する講義室やものづくりを実践するための工房、国際交流のためのコミュニケーションスペース、グループワークや自習活動のためのラーニングcommonsなど、様々な「場所」が整備されています。

みなさんが、これらの施設を活用し、大学での学びを充実させ、専門的な知識やスキルの修得だけでなく、それをグローバル化した社会で、活用し、学び続けることができる人材に成長することを願っています。

X X on Campus

アクティブ・ラーニングを推進するための講義室や、エンジニアリング・デザイン教育のためのデザイン工房、国際交流スペースとしてのラウンジや、自律的学習空間のためのcommonsを両学部にて整備しています。



先進性 × 解決力

ACTIVE
LEARNING

- X1 MILAiS P.05
- X2 プロジェクトラボラトリ P.07



創造性 × 表現力

CREATIVE

- X3 デザイン工房 P.09



主体性 × 持続力

AUTONOMY

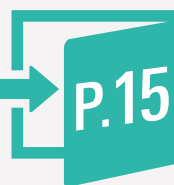
- X4 附属図書館 ラーニングcommons P.11
- X5 ラーニングアゴラ P.12
- X6 未来型インタラクティブ教育棟 P.13



多様性 × 適応力

GLOBAL

- X7 ランゲッジ・ラウンジ P.15
- X8 グローバル・コミュニケーション・ラウンジ P.16
- X9 明専寮 P.17
- X10 国際研修館 P.18
- X11 スチューデント・レジデンス P.18

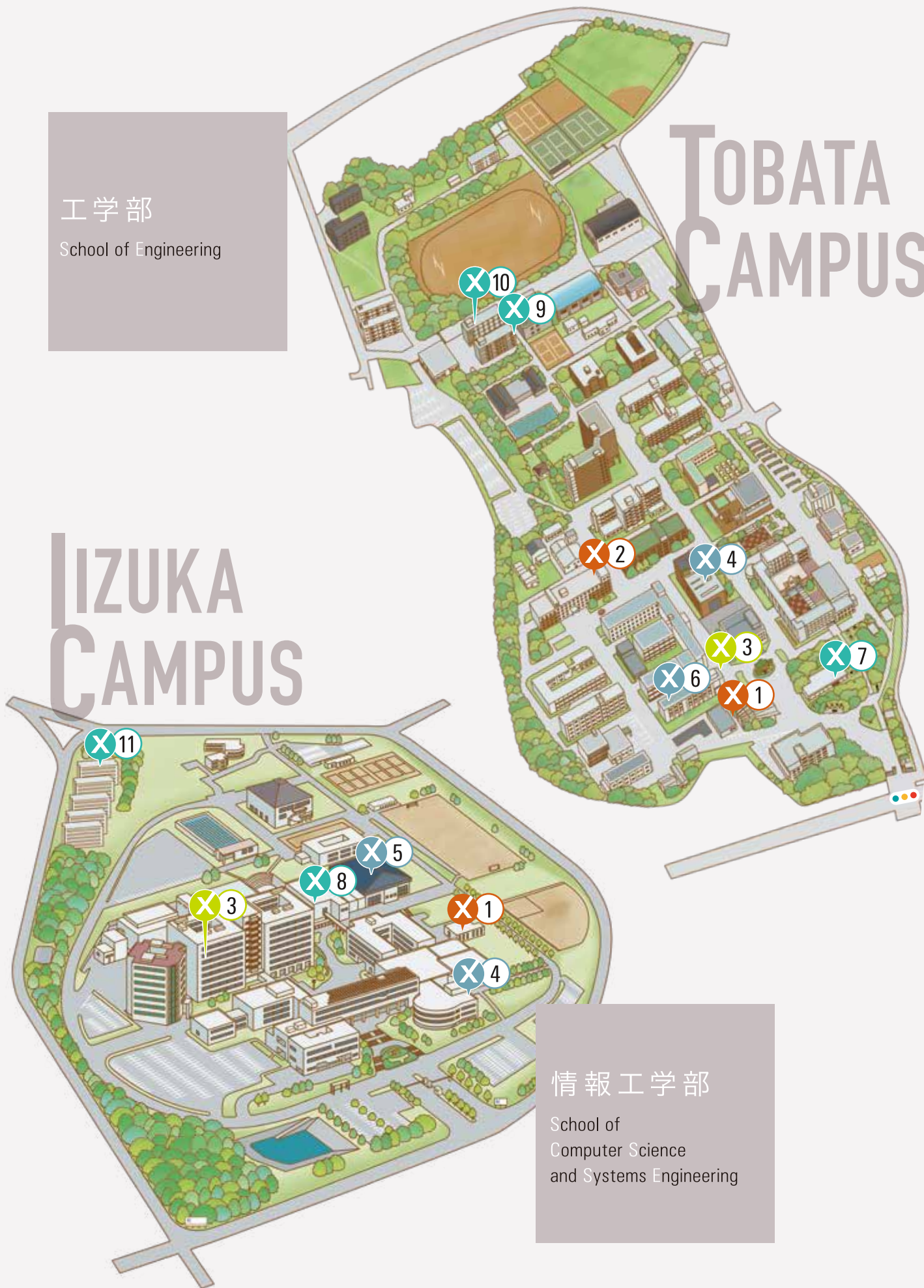


工学部

School of Engineering

TOBATA
CAMPUS

IZUKA
CAMPUS



情報工学部

School of
Computer Science
and Systems Engineering

ACTIVE LEARNING

先進性 × 解決力



アクティブ・ラーニングを推進

X1 MILAiS ミライズ

MILAiS

戸畑キャンパス

飯塚キャンパス

MILAiSでは、様々な授業形態に対応できるように可動式の机や椅子、四方の壁面に8つのスクリーンを整備しています。平成23年に飯塚キャンパスに、平成26年に戸畑キャンパスに開設されました。双方向の学びや学生の主体的な活動を促進するため、従来の講義室と異なり、教壇や教卓を置かず、室内の前方・後方にとられることのない柔軟なデザインを実現しました。

ネットワークは無線・有線に対応可能で、イーゼル型のホワイトボードなどディスカッションやグループワークに適した学習環境を整えています。

飯塚キャンパスでは、ICT機器の管理や更新を学生スタッフが、常駐の専門教員による効果的な活用方法などのサポートが受けられるようになっています。

- A 100名の収容が可能。
- B 対話を促す配置やデザイン。
- C プロジェクターを完備。大人数のプレゼンテーションにも対応可能。
- D 様々な授業形態を実現。
- E 透明のパーティションにより、2つに区切ることができる。

How to use Learning Complex

海外派遣プログラムの事前学習を実施。

海外渡航する学生を対象に異文化適応や自己認識、グローバル教養の講座を行っています。可動式の机を活用して、グループでディスカッションをしたり、ホワイトボードを用いてプレゼンテーションを行いました。





B



C



D



E

活用事例

ここが
KYUTECH

MILAiS の先進的な取り組みが広がっています。

アクティブ・ラーニング対応の取り組みは、アメリカなどの海外の大学でも進んでいます。実際に、MILAiS を利用している授業担当教員からは、「学生との距離感を縮められた。」「自然と、授業中に室内を歩き回る機会が増え、学生からの質問の回数が増えた。」「学生同士のディスカッションが活発になった。」などの意見が寄せられています。

また、MILAiS では、平成23年の飯塚キャンパスでの開設以来、大学や高等学校、教育委員会などの学校関係者の他、官公庁や一般企業からも数多くの施設見学の方々が来られています。特徴的な机や椅子の配置といったデザインに関する質問だけでなく、プロジェクターや可動式のホワイトボードなどを効果的に用いた授業の実践方法などの質問が寄せられました。

Topic of X on Campus



トヨタ自動車九州様で MILAiS 型スペースが設置されました。



↑ プロジェクターを用いて、プレゼンテーション。

トヨタ自動車九州様は、本学のMILAiSを視察され、ディスカッションやグループワークに適した環境に関心をお持ちになり、実際に、オフィスの一角にMILAiS型スペースを整備されました。ミーティングやプレゼンテーションなどに活用していただけます。

ACTIVE LEARNING

先進性 × 解決力



A

アイデアを生み出す空間

X2 プロジェクトラボラトリ

Project Laboratory

戸畑キャンパス

PBL(Project-Based Learning)、課題解決型の授業を実施するために開発された講義室です。PBL教育をより効果的なものにするために、人間工学的観点に立って、デザインされました。

様々なカタチのカラフルな椅子や机が木のフローリングの上に置かれ、これらは自由に移動させることができます。

ここでは、靴を脱いで木のぬくもりを感じながら過ごし、リラックスしてディスカッションを行うことができます。

PBL関連の授業で利用されているほか、英語や留学生対象の日本語クラスなどの語学の授業や、OBによる企業説明会など様々な用途で使用されています。

- A 自由な発想を促すデザイン。
- B 明るい色調の開放的な空間。
- C 落ち着きのある木のテーブル。
- D ホワイトボードのイーゼルも自由に動かせる。
- E 椅子やテーブルは移動自由。好きな所で使える。
- F ディスプレイの本も発想のヒントに!
- G リラックスしてディスカッション。



F



G



B



C



D



E

Voice of Student

とても個性的な施設！

斬新なデザインですが実は使いやすい！
最初は少し驚きましたが、実際に使ってみると使いやすいです！
授業の他、研究室のゼミでも使います。



どんな風に活用していますか？

雰囲気がよく落ち着く場所です。
静かで落ち着くので、授業で使っていない時には、自習に使わせてもらうこともあります。



Topic of X on Campus

ここが
KYUTECH



レゴブロックを使った
グループワークの授業を行いました。



平成29年度総合システム工学
入門PBL授業の一環として、レ
ゴ®シリアスプレイ®を実施し
ています。まずは数が限られた
パーツを使って作品を製作し、
その後はテーマに沿って、自由
にパーツを選んで作品を製作します。自分の作品について、
グループメンバーにプレゼンテーションを行い、最終的には
メンバー全員の作品を合体させてストーリーを作るという作
業を行います。レゴを通して自己を表現する手法に、学生は
熱心に取り組んでいます。

CREATIVE

創造性 × 表現力



実践的な創造の場

X3 デザイン工房

Design Workshop

戸畑キャンパス

飯塚キャンパス

エンジニアリング・デザイン教育を推進するため、戸畑と飯塚の両キャンパスに「デザイン工房」として整備されました。

3Dプリンターをはじめとしたデジタル工作機械や様々な工具が設置されています。演習などの授業での利用のほか、実験装置の製作や、ロボット製作を行う学生サークルの活動の場としても活用されています。

両キャンパスでは、工房の運用や機器の利用をサポートするための学生スタッフが、授業時間外の利用を支援しています。

飯塚キャンパスでは、ラーニングアゴラにて「デザイン工房作品（モノ）フェス」を開催し、工房を利用して製作された作品の展示や実演を行うなど、他の施設とコラボしてデザイン工房の活用事例を紹介するなど様々な活動を行っています。

A 学生スタッフが機器の使い方を教えてくれる。

B 戸畑キャンパスのデザイン工房は未来型インタラクティブ教育棟の中にある。

C 専門的な機械や道具が充実。

D 3Dプリンターでイメージを具現化した作品。





B



How to use Learning Complex

「創造の場」
を支える
デジタル工作機械



ミリングマシン

木材やアルミなどの素材を切削加工する機器です。デジタルデータに基づき、いろいろな素材を削って造形することができます。



3D プリンター

3次元 CAD などの3D データをもとにして、熱した樹脂素材を積層していく過程を繰り返してデータと同形の立体物を成型する機器です。デジタルデータを立体物として出力(造形)できることが特徴です。



レーザー加工機

木材などの素材の切断や彫刻を不可視レーザーによって行います。デジタルデータに基づき、いろいろな素材を様々な形にカットしたり、彫刻することができ、手動では困難なデザインの加工も可能になります。

Topic of X on Campus



RoDEP (ロデップ) の活動も支えています!

RoDEP(ロデップ)とは?

九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)にてロボット製作を行っているサークルで、デザイン工房の機器を利用しています。



「ロボカップジャパンオープン 2014」での受賞



RoDEPは、同大会のレスキュー実機リーグに出場し、2013年、2014年と連続で、「Best in Class Autonomy(自律型ロボットの特別競技の第1位)」を受賞しました。2016年には、「第1回森のドローン・ロボット競技会」において、佐伯広域森林組合長賞を受賞しました。

ここが
KYUTECH



A

A 丸い形の机は組み合わせ次第で違うレイアウトにすることが可能。

学びあう環境

X 4 附属図書館 ラーニングcommons

Learning Commons

戸畑キャンパス

飯塚キャンパス

誰もが入りやすく、いつでも学習しやすい環境を作るために、附属図書館内にラーニングcommonsを設置しています。自由に組みかえられる机を配置し、一人での自習もグループ学習もしやすいようになっています。

飯塚キャンパスでは、空間を仕切るスマートインフィルが設置され、研究室のゼミが行われることもあります。

戸畑キャンパスでは、学生によるラーニングcommonsサポーターが曜日や時間ごとに担当し、勉強やスペースの使い方などのアドバイスも行っています。

Topic of X on Campus

ここが
KYUTECH

X ラーニングcommons サポーターとは？

勉強や学生生活、図書館の使い方などのアドバイスを行う学生たちのことです。相談は、サポーター毎に対応する曜日と時間帯を決め、図書館内の専用スペースで受け付けています。それ以外に、学生の学びを促すようなイベントの実施や展示、学習や学生生活に役立つ情報の発信も行っています。



主な相談

- ? 授業内容や課題、期末試験等の解けない問題について
- ? 英語やフランス語などの語学学習、会話の練習
- ? 英文の添削
- ? 研究室やコース決めについて



A

学びあう環境

X5 ラーニングアゴラ

Learning Agora

飯塚キャンパス

「広場・市場」を意味する「アゴラ」をコンセプトに、食事や休憩、グループワークや自習など、学生活動の拠点として多目的に使うことができる空間として整備されました。広い空間に置かれたテーブルと椅子は形も色も多彩に取り揃えられ、2、3人でも10人以上のグループでも、自由に配置を変えながらグループワークができるようになっています。特に試験前には、多くの学生が利用します。

無線LANや音響設備も完備し、学生の自由なグループワーク以外でも、国際交流、講演会、発表会などのイベントに活用されています。広い空間は目的や用途に合わせてスペースを区切られるようになっており、小規模での活用も可能です。

2014年には「ロボカップジャパンオープン2014」のメイン会場として利用されました。

A 試験前になると勉強する学生の利用も増える。

B 食べたり、寛いだり、勉強したり、自由に過ごせる空間。

C 食堂とラーニングアゴラに隣接するテラス席。



B



C

主体性 × 持続力



A

主体的に学ぶ

X6 未来型インタラクティブ教育棟

Interactive Educational Building

戸畑キャンパス

アクティブ・ラーニングに適した遠隔講義システムを備えたグループワーク講義室、デザイン工房、ラーニングcommonsなどを整備し、学生が自ら主体的に学ぶ環境を整えました。吹き抜けのある開放的なラーニングcommonsは、自由に利用することが可能で、課題に取り組む学生やグループで学びあう学生の姿を見ることができます。

広い空間を活用して、ポスターセッションや研究発表会を実施したり、間仕切りの利用や可動式の机と椅子の配置を変えて、少人数の活動に利用することも可能です。

使う目的や用途に応じて様々な使い分けが可能な未来型インタラクティブ教育棟は、2016年に「2015年度建築九州賞(奨励作品)」を受賞しました。

A 利用する人数に合わせて使用できる。

B 平成27年にオープンした未来型インタラクティブ教育棟。

C 少人数のグループ向けにも対応可能。



C



B

ここが
KYUTECH

Topic of X on Campus



様々な用途に対応出来る
対話的・複合的な学習環境の交差点



学生が主体的に行う学びや活動のための施設が集まっています。プレゼンテーションやグループワークだけでなく、展示会や活動報告会など幅広く利用できる点が強みだと思います。

国際化にも対応



ポルト大学（ポルトガル）来日ミーティング
ポルト大学副学長来学時には、開放的な空間を活用して、自由な意見交換が行われた。



短期受入プログラムプレゼンテーション
マレーシアポトラ大学の受入プログラムの際は、最終日のプレゼン会場として利用。

活用事例



ポスターセッション
国際シンポジウムや学会の開催時には、ポスターセッションの会場として利用。



説明会
プロジェクターを利用した各種説明会も開催される。



リサーチスカラーセミナー
科学英語やプレゼンテーションのセミナーを開催。使用言語は英語のみ。



自習の場として
授業時間外の学生の自習の場としても利用される。

多様性 × 適応力



A

毎日が異文化交流

X7 ランゲッジ・ラウンジ

Language Lounge

戸畑キャンパス

豊かに茂る木々に囲まれた鳳龍会館の中にあるランゲッジ・ラウンジは、語学学習や日本人学生と留学生との国際交流を目的としたスペースです。

曜日ごとに留学生スタッフによる韓国語、中国語、フランス語の講座が行われているほか、インストラクターによる初級英会話や英語でのプレゼンテーション指導も行っています。

七夕やクリスマスなどの季節の行事を通して、お互いの国の文化紹介を行うイベントを企画し、日本人学生と留学生との異文化交流に役立っています。

A 透明の椅子を起用し、圧迫感がない空間。

B 大きな窓で開放的。

C 日本文化を楽しむイベントを開催。



B



C



A

毎日が異文化交流

X8

グローバル・コミュニケーション・ラウンジ

Global Communication Lounge

飯塚キャンパス

学生が気軽に立ち寄って、異文化に触れ、国際交流を楽しむことを目的として開設されました。語学力に自信のない学生に対しても、国際経験豊富なスタッフや、時間や曜日ごとに担当する留学生スタッフがサポートにあたります。

また、語学学習に関するアドバイスや英語のプレゼンテーションの練習も行われています。

外部から講師を招いての講演会やセミナー、留学生の企画による文化紹介やゲームなどの自発的な活動も実施され、様々な国際交流が行われています。

- A いろんな国からの留学生が集う。
- B セミナーの会場としても利用されている。
- C ハロウィンパーティーは人気のイベントの一つ。



B



C

GLOBAL

多様性 × 適応力



暮らしながら学ぶ。

↑ 明専寮の共有スペース。

寮生活 DORMITORY LIFE in KYUTECH

グローバルリーダー育成

X9 明専寮

Meisen Dormitory



↑ 班別のグループワークや自主学習が行われています。

戸畑キャンパス

「明専寮」では、寮を第2の教育の場と捉え、寮における共同生活を通じて、グローバルリーダーの育成を目指しています。各フロアには、居住スペースの他、研修室が設置されています。語学力向上のための週1回の英語講座、月1回の外部講師等による講演、寮生の企画による工場見学やポスター発表、ボランティア活動などの教育プログラムを実施しています。

1年生40名程度と、リーダー役の2年生8名が入寮しており、全て1人部屋になっています。



言葉や文化の違いを日々感じる

X10 国際研修館

Global Cultivation Center



まるで留学みたい!仲間との共同生活でグローバルなコミュニケーションスキルもアップ。



戸畑キャンパス

日本人学生と留学生の混住による国際交流及び、短期受入れ留学生と入館者との協働学習を行う宿泊型研修の場として、平成27年に開館しました。1ユニットに、留学生を含む3名の定員となっており、共同生活を行います。女子学生のフロアを設け、5ユニット計15名の女子学生の受入が可能です。共同生活や留学生との協働学習を通して、語学力、異文化理解、国際感覚、コミュニケーション力、自律的学習力などを身に付けることが期待されています。



X11 スチューデント・レジデンス

Student Residence



飯塚キャンパス内に位置し、周りには木々も多く環境も良い。



飯塚キャンパス

大学院生を中心に日本人の学生1人と留学生2人が1戸3室の部屋をルームシェアして、言葉や文化の違いを日々感じながら生活しています。寮生たちは、イベントを企画したり、お互いに意見を出し合って自主的な活動を行っています。



中国出身の留学生のルームメイトが得意の中国料理をふるまってくれることもあるなど、日常生活から、相互の文化交流ができます。





国立大学法人 九州工業大学

教育高度化推進機構

学務課 教育企画係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

TEL: 093-884-3207

<http://www.kyutech.ac.jp>



九工大

検索



2017年9月発行